

日本電気株式会社が発行する 「サステナビリティ・リンク・ボンド」への投資について

大東京信用組合（理事長 柳沢祥二、以下「当組合」）は、日本電気株式会社（以下「本法人」）が発行する第 65 回サステナビリティ・リンク・ボンド・無担保社債（以下、「本債券」）への投資を決定いたしましたので、お知らせいたします（本債券発行日 2024 年 7 月 9 日）。

「サステナビリティ・リンク・ボンド」とは、あらかじめ定められたサステナビリティ/ESG 目標（SPTs）を達成するかどうかによって条件が変化する債券のことで、調達資金が必ずしも特定の資金用途に限定されません。

本法人は SPT を、SPT1：2032 年度における Scope1 および Scope2 の CO2 排出量を 60.0%削減（2020 年度比）、SPT2：CDP 気候変動の最終スコア「A」の維持とし、いずれの SPT も未達の場合、社債発行額の 0.1%相当額、SPT1 が未達の場合、社債発行額の 0.1%相当額の 10 分の 7、SPT2 が未達の場合、社債発行額の 0.1%相当額の 10 分の 3 を、償還日までに排出権（CO2 削減価値をクレジット・証書化したもの）の購入、または、環境保全活動を目的とする公益財団法人、国際機関、自治体認定 NPO 法人、地方自治体やそれに準じた組織に対して寄付いたします。

また、本債券発行にあたり本法人は、2022 年 6 月に策定した「サステナビリティ・リンク・ボンド・フレームワーク」を改訂し、「国際資本市場協会（ICMA）」が定める「サステナビリティ・リンク・ボンド原則 2020」および環境省が定める「サステナビリティ・リンク・ボンドガイドライン（2022 年版）」への適合性を確認したセカンドオピニオンを株式会社格付投資情報センター（R&I）より取得しております。

当組合は、今後も ESG 投資を通じて、SDGs の達成に貢献する事業を資金面からサポートし、持続可能な社会の形成に寄与すべく社会的使命・役割を果たしてまいります。

以 上